

私たちには選択するという力がある。私は金持ちになるという選択をし、その選択を日々行っている。

- 1、「金持ちのように考える」・・・古い考えを捨て、新たな思考を創り経済的自由を享受するための力を身につけることについて考える。
- 2、「金持ちが知っていることを学ぶ『5つのファイナンシャル・リテラシー』」では、あなた自身が創造する人生を確実に歩むための知識を学ぶ。
- 3、「金持ちの行動を実践する『経済的自由への快速活路、ステップ・バイ・ステップ』」では、目的地へたどり着くよう手助けをする。

(森の中で道が二本に別れていた、足跡が少ない方を選んだら、私に大いなる違いをもたらしてくれた)
—ロバート フロスト

●SECTION1 THINK Like the Rich(金持ちのように考える)

自分を成長させる・・・成功している人たちに共通する強さには、以下のようなものが挙げられる。

- ・洞察力・・・他人が見出すことができないものを見つける力
- ・勇気・・・恐れ、恨みにまどわされない行動力
- ・独創力・・・概念に捕らわれることのない思考
- ・自身・・・批判に耐ええる能力
- ・自己管理・・・自分自身にぬか喜びさせない統制力

○金持ちへの道

- 1、ファイナンシャル・リテラシーを持つ(経済の歴史、会計、税金、投資、ビジネスの構築方法)
- 2、ビジネスを構築する
- 3、貯蓄するくらいなら投資する
- 4、自分のためにお金に仕事をさせる
- 5、まず自分にお金を払う
- 6、お金は価値が上がるものに投資することで増やす
- 7、どうしたら購入できるか考える
- 8、投資しないことはリスクーだ
- 9、家は負債である
- 10、お金持ちは気前が良い
- 11、お金とは力である

○金持ちになる戦略・・・貧乏人や庶民はお金のために働く、でもお金持ちは、自分のためにお金に働いてもらう。

- 1、ファイナンシャル・リテラシーを身につける
- 2、学ぶために働く
- 3、良き助言者を見つけ、チームを構築する
- 4、自分自身のために働く
- 5、お金を作り出す
- 6、還元する

○どこに属しているか・・・金持ちがますますお金持ちになっていく理由の一つは、労働者ではなく投資家としてお金を得ているからである。金持ちはキャッシュフロー・クワドラントの右側にいる。



キャッシュフロー・クワドラント

それぞれの頭文字は、左側の立場を表している

- E**mployee.....従業員
- S**elf-employed worker.....自営業者
- B**usiness owner.....ビジネスオーナー
- I**nvester.....投資家

○クワドラントの言葉

- Eクワドラント・・・「安心確実で、収入の見込める仕事が欲しい」
- Sクワドラント・・・「私の料金は時間当たり5万円だ」
「誰も私よりうまく出来やしない」
- Bクワドラント・・・「私の会社を経営してくれる新しい社長が欲しい」
「私よりうまくできる人間がいるなら、なんで私がやらないといけないのか？」
- Iクワドラント・・・「私のキャッシュフローはインターナルレートの収益によるのか純利益なのか？」

●SECTION2 LEARN What the Rich Know(金持ちの知っていることを学ぶ)
無一文からスタートする。持っているのは、莫大な富を獲得する夢と希望だけだ。
お金持ちになりたいなら経済的な能力を身につける必要がある。

○金持ちになるための決断をする



キャッシュフロー・クワドラント

金持ちになるためには、キャッシュフロー・クワドラントの右側に位置する。
Bになるためには、経済的な能力を持ち、ビジネスを構築させなければならない
Iは投資家になることであり、IとBの目的は経済的自由である。、

○人とは異なった考え方、金持ちになるためには、金持ちのように考える必要がある。

中流階級

- ・仕事の保障が主要
- ・マイホームを持つことが目標
- ・お金は貯蓄するのが一番
- ・金持ちは貧欲だ

金持ち

- ・ビジネスを構築することが主要
- ・アパートを所有することが目標
- ・お金は投資するのが一番
- ・金持ちは寛大だ

- あなたの現実を選択する、もしあなたが金持ちになりたかったら、現実にはゴールは年間120万ドル、一ヶ月10万ドル(8百万《1ドル:80円換算》)以上の収入を稼ぐ必要がある。
これは自分がお金のために働くのではなく、お金が自分のために働くという意味である。



1ヶ月8百万円	金持ち	
1ヶ月80万円	快適	
1ヶ月40万円	安定	
1ヶ月20万円	生存	1ドル:80円換算

ファイナンシャル・プラン・ビルダー

- 経済の基礎・・・貧乏な人や中流階級の人、現金をゴミ、すなわち負債に変えてしまう。
一方上流階級の人、株や土地、あるいは事業といったものを購入し、現金を資産に変えてしまう。
- 時は金なり・・・もし若いうちにお金を貯めることを始めるならば、簡単にお金持ちになれる。20歳でコツコツと貯蓄し始めた人と、30歳から貯蓄を始めた人の間には驚くべき差がある。
1日1日を充実させなければならない。
- インフレーション・・・インフレーションは減退する貨幣価値に起因する価格の上昇のこと。
一生懸命働いているのに収入の少ない人は、お金の価格が不変的に損なわれていることに大いに苦しむ。お金は絶えず価値をなくしていくので、経済的に賢い人は、価値を創造したりより多くのお金を生み出す方法を絶えず探していかなければならない。

経済学者がインフレーションを監視する1つの方法は、国内総生産(GDP)と呼ばれる指標による、そのGDPは、ある一定期間に国内で生産された財やサービスすべての合計の価格である。物価が製品と関連するコストの上昇のため値上がりし、しかし商品自体は同じ物である時はいつでも、インフレーションが起こる。

GDP(Gross Domestic Product)国内総生産・・・

国内で新たに生産されたモノやサービスの付加価値の合計額のことをいいます。

GNP(Gross National Product)国民総生産・・・GDPの国内に限らず海外の日本企業の生産額も含む。

- 情報こそ力なり・・・株式市場は常に暴騰と暴落が存在する。トリックとは、暴落している時に「売り」ではなく、「買い」にはいることだ。パニックに陥らず、利益を得よ。

- 会計の基礎・・・それはただの数字ではなく、その数字があなたに何かを伝えようとするものである。
それはただの言葉でなく、その言葉があなたに伝えようとする物語である。

- 資産と負債・・・資産とは自分の財布の中にあるお金のことで、一方負債とは、そこから出るお金のことである。

資産・・・財政資産とは、自分の財布にお金や収入を入れること。

- ・現金
- ・銀行の預金
- ・株
- ・債権
- ・投資信託
- ・退職基金
- ・人に貸している貸金
- ・所有している事業の正味価値
- ・所有している不動産の正味価値

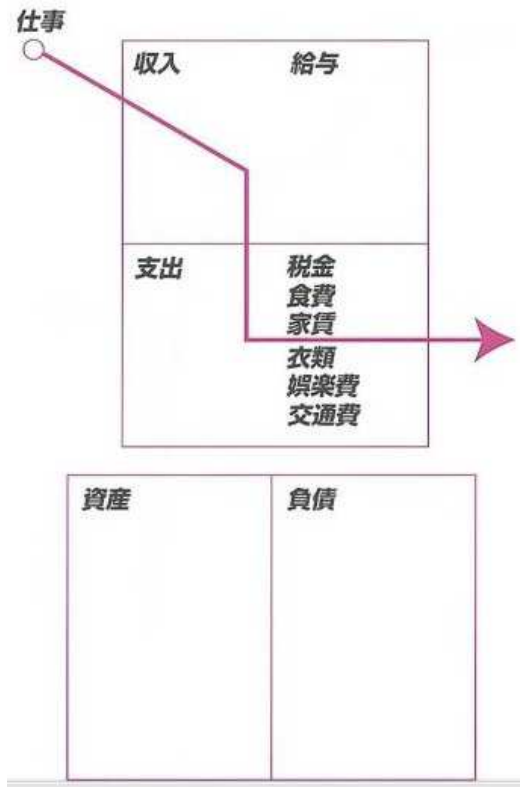
負債・・・負債とは、自分の財布から出て行くお金のことである。

- ・支払期日に清算するクレジットカードの利用額
- ・抵当
- ・ローン
- ・税金など

- 純資産 = 資産 - 負債

財務諸表の能力に気づかない人は、たいてい最少額のお金と最大の財政的問題を抱えている。

○貧乏人の典型的なキャッシュフロー・パターンは図のように単純化できる。



すべての収入が支出をまかなうために使われている。この人は資産を所有していないことになる。

○お金の流れの読み方を学ぶ

財務諸表の仕組みと読み方、「財務諸表」は「損益計算書」、「貸借対照表」からできています。

・損益計算書 (profit and loss statement) ……一年間のお金の入出を表す表

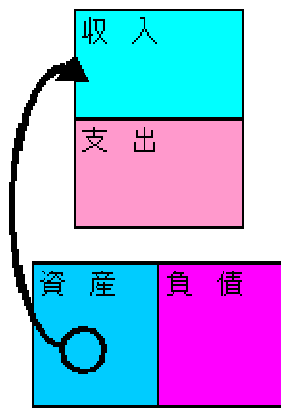
収入
支出

・貸借対照表 (balance sheet) ……………資産状況を表す表

資産	負債
----	----

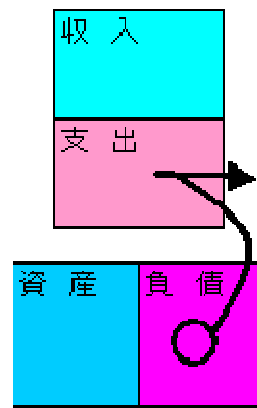
資産は私の財布にお金を入れてくれる。
負債は私の財布からお金を取っていく。

資産からのお金の流れ



アパートを持っていると家賃収入が得られる

負債からのお金の流れ



持ち家を持っているとローンや管理費が出て行く

●SECTION3 DO What the Rich Do(金持ちの行動を実践する)

あなたはどんな状態か、今の状態を知る

(財務諸表の役割を知れば、もっとうまくお金をコントロールできる)

○収入と資産

収入には勤労所得、不労所得とポートフォリオがある。

ポートフォリオとは投資家が所有する金融資産の利息や配当

勤労所得とは働いて稼いだお金である。

○不労所得と資産・・・不労所得とは不動産やビジネスのような資産から得た収入。

○経済の天才とはいくらお金を稼いでいるかではなく、いかにお金を貯め、そのお金を自分のために働かせているかである。

○新たな目標を設定する・・・大切なのはいくらお金を稼ぐかではなく、どれだけのお金を持ち続けるかだ。

○富とは、お金ではなく、時間により換算される。お金が自分のために働くようにすると、お金のために自分のすべての時間を費やす必要がなくなる。

○新たな目標を設定する・・・大切なのはどれだけお金を稼ぐかではなく、どれだけのお金を持ち続けるかである。

○投資家になる・・・投資とは金持ちへの早道ではない。投資とはプランであり、金持ちになるための退屈で、単純な道のりであることが多い。

○投資のための7つのルール

1、投資に回すための財源が何であるかをはっきりとさせる。勤労所得、不労所得かポートフォリオか

2、稼いだお金をできるだけポートフォリオ収入または不労所得へと有効に転換する

3、利益を生む証券の購入

4、資産を失わず最大に生かす

5、何が起こっても柔軟に対応する

6、よい商機が現れたら、資金投入の機は迫ったことを知るべきだ

7、リスクと報酬の評価の仕方を学ぶ

○なぜ不動産は得なのか・・・大金持ちの大多数は不動産を所有している。金持ちの秘密とは次の三つである。

・レバレッジ(てこの力) ・税金の優遇 ・価値の上昇

レバレッジとは何か。今、私が百万円作ったとする。百万円の株を買うことも出来るし、また、百万円を頭金として使い、銀行から9百万円の融資を受けて、1千万円の不動産に投資することもできる。

百万円の資産と1千万円の資産を作ることの違いを理解できるならば、レバレッジとはなにを意味するのかわかるのではないのでしょうか。どちらの場合も投資にもちいた現金は百万円で同じだが、どちらがより早く価値の上昇、またはより多くの収入をもたらすだろうか。それは百万円の資産か？ 1千万円の資産か？レバレッジの強みは、あなたが他人のお金、この場合は銀行のお金を使って、自分の富の成長を急速に促進できることにある。

○金儲けだけでは強いミッションにはならない。ビジネス上のミッションは、客のニーズに応えることであるべきだ。ニーズに応えることが満足にできれば、金儲けはできるようになる。

ミッション (mission) : 任務や使命

○リーダーの仕事は、最善の人になることではなく、人の長所を引き出すことである。

○究極の投資家になる・・・金持ちはお金を生み出す。一体どうやってだろうか？
彼らは会社を設立し、株式を公開する。

○貧乏は永久であるが、破産は一時的なものである。全てを失ったとしても、財政的な能力があれば立て直しは可能である。

○大きく考える・・・人が夢から逃げてしまう理由は、自分の中のちっぽけな一面が大きいほうに勝ってしまうからである。自分の貧弱さより大きくなる努力を日々しよう。今はまだすべてのことが完璧にできなくても、懸命に努力をすることにより自分の世界は変わるであろう。学ぶことから逃げ出さないこと。自分の無知さ、恐怖や疑念に立ち向かうのだ。失敗をし、そこから学ぶ。

●SECTION4 I practice that I become rich(私が金持ちになるために実践していること)

2012年10月23日(火) 沖縄タイムス

2012年世界の富裕層数ランキング

順位	国旗	国名	富裕層数 (万人)
①		米 国	1102.3
②		日 本	358.1
③		フ ラ ンス	228.4
④		英 国	158.2
⑤		ド イ ツ	146.3
⑥		イ タ リ ア	117.0
⑦		中 国	96.4
⑧		オーストラリア	90.5
⑨		カ ナ ダ	84.2
⑩		ス イ ス	56.2

スイスの金融大手クレディ・スイスが22日発表した2012年の世界の富裕層数ランキングによると、純資産

純資産100万ドル超
日本は世界2位

富裕層ランキング

トップは米国

100万ドル(約8千万円)以上を持つ富裕層は日本に約360万人おり、米国に次いで2位だった。前年より約8万3千人増え、17年には540万人に拡大すると予測している。

ランキングは、1位の米国が1102万3千人、2位の日本が358万1千人、3位のフランスが228万4千人。一方、5千万ドル(約40億円)以上の純資産を持つ超富裕層は、日本が約3400人で4位。1位は約3万8千人の米国が断トツで、2位は経済成長で躍進した中国の約4700人、3位はドイツの約4千人だった。

クレディ・スイスが集計した純資産は、不動産など非金融資産と金融資産の合計から、家計の負債を差し引いた額。

(純資産100万ドル以上、クレディ・スイス調べ)